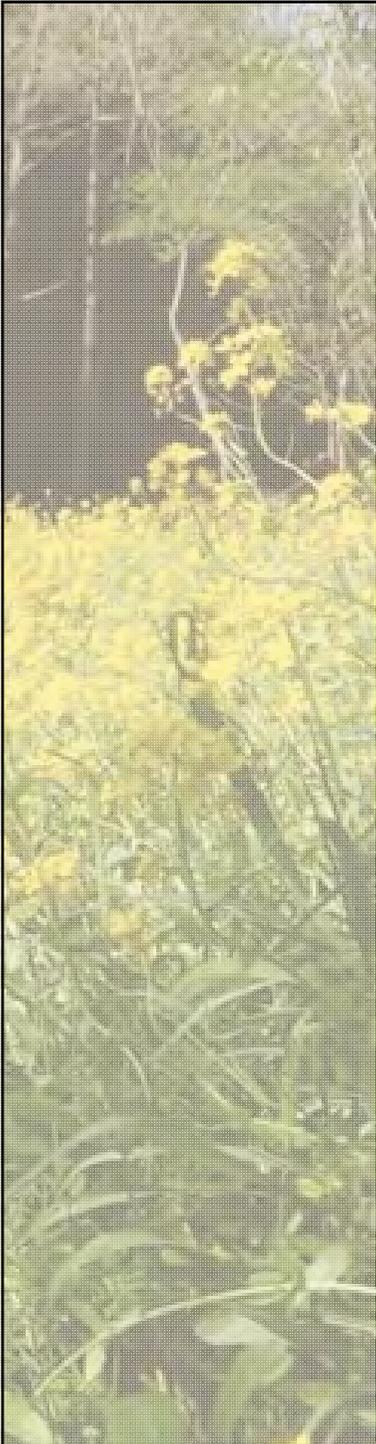




地域活性化検討専門部会
第1回専門部会

平成27年7月1日（水）



平成27年度 農と環境を活かしたまちづくり

地域活性化専門部会 第1回専門部会

1. 「農と環境を活かしたまちづくり」の基本的事項
2. 平成26年度の試行的取り組み事項（全体）
3. 平成26年度の試行的取り組み事項（専門部会）
4. 実施計画の作成に向けた今年度の取り組み
5. 今後の予定

1. 「農と環境を活かしたまちづくり」の基本的事項

1-1. はじめに

1-2. 対象地

1-3. 地域資源

1-4. 地域が抱える主な課題

1-5. まちづくりの目標

1-6. まちづくりの推進体制

1-7. 実施方針

1-8. まちづくりの基本的な進め方

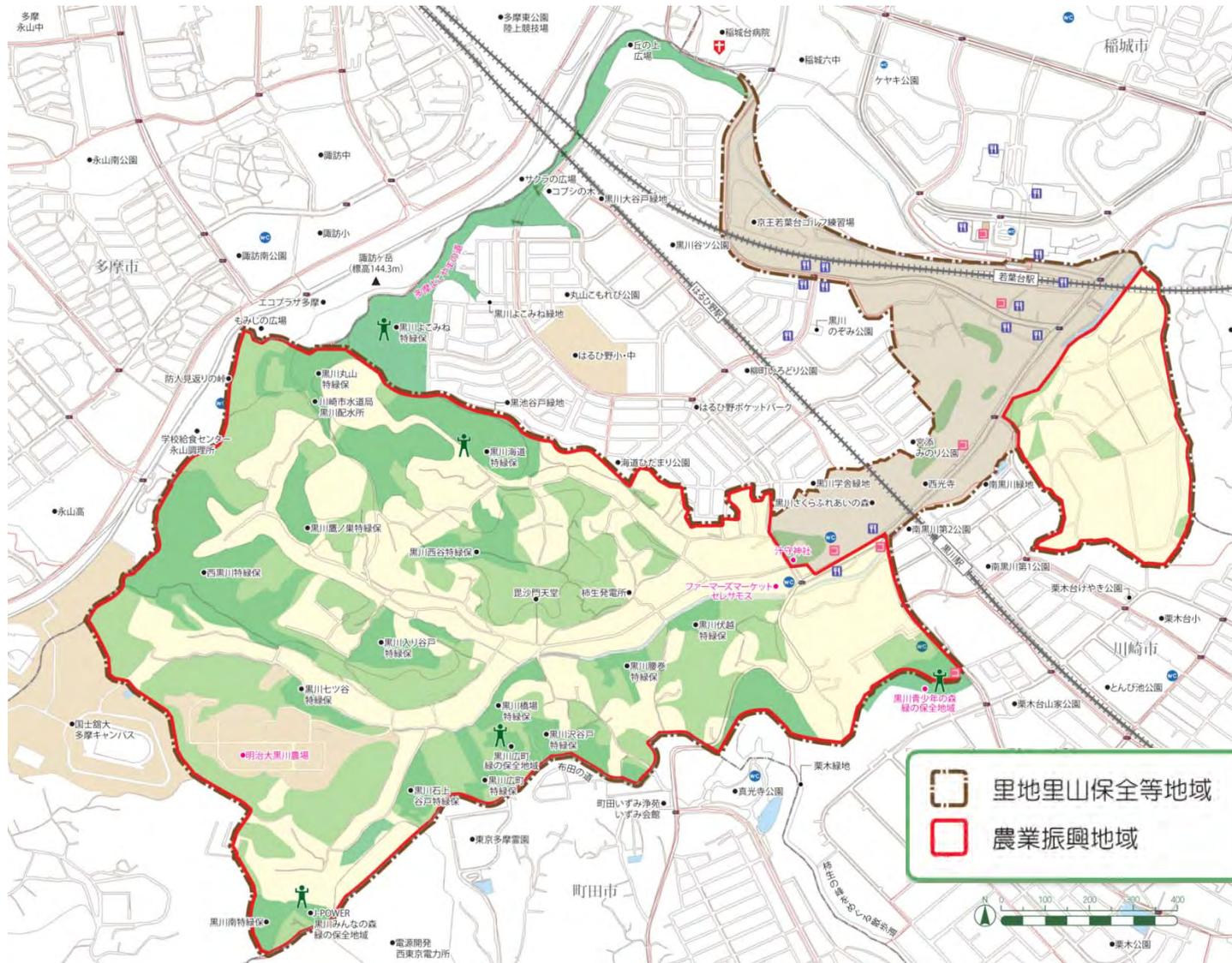
1-1. はじめに

黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり とは

黒川地区の豊かな緑と農地が残された里地里山の面影を残す良好な環境を舞台に、黒川地区を支える様々な担い手が連携し、多様な取り組みや交流を通して、地域の課題を解決しながら、持続的な環境の保全や地域の活性化につなげていく試みです。

- 平成26年度では、農と環境を活かしたまちづくりの方向性、道筋、具体的な取り組み等について、基本計画としてとりまとめました。
- 各関係者が共有できる実施計画を作成し、本格的な活動につなげていくため、今年度は、様々な取り組みを具体的に試行しながら、評価を行い、課題解決の糸口やまちづくりの道筋を見定めていきます。

1-2. 対象地



1-3. 地域資源

農業資源



豊かな農地



良質な地元農産物



セレサモス



体験農園・観光農園



農業情報センター



農作物の活用（料理教室）

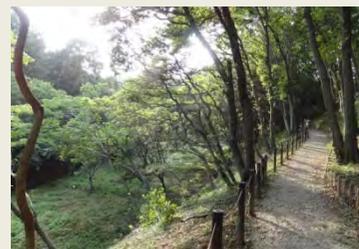
環境資源



里地里山景観



特別緑地保全地区



散策路



豊かな動植物



汁守神社



黒川青少年野外活動センター

黒川地区の良好な里地里山の環境・景観を支える **人的資源**

農業者

保安全管理団体

大学

ボランティア

市民

1-4. 地域が抱える主な課題

農が抱える課題

- 都市農地の保全
- 農家・農業後継者の減少
- 地元農産物の魅力づくりや付加価値の向上
- 来訪者等のマナー向上

etc.

緑が抱える課題

- 里地里山環境の持続的な保全・活用と担い手の確保
- 生物多様性の保全、環境学習環境の確保
- 農業施策と緑地保全施策の連携

etc.

地域が抱える課題

- 地域の活性化と増加する来訪者への対応
- 農業者、地域住民、市民ボランティア、大学、周辺企業、市民等との積極的な連携

etc.

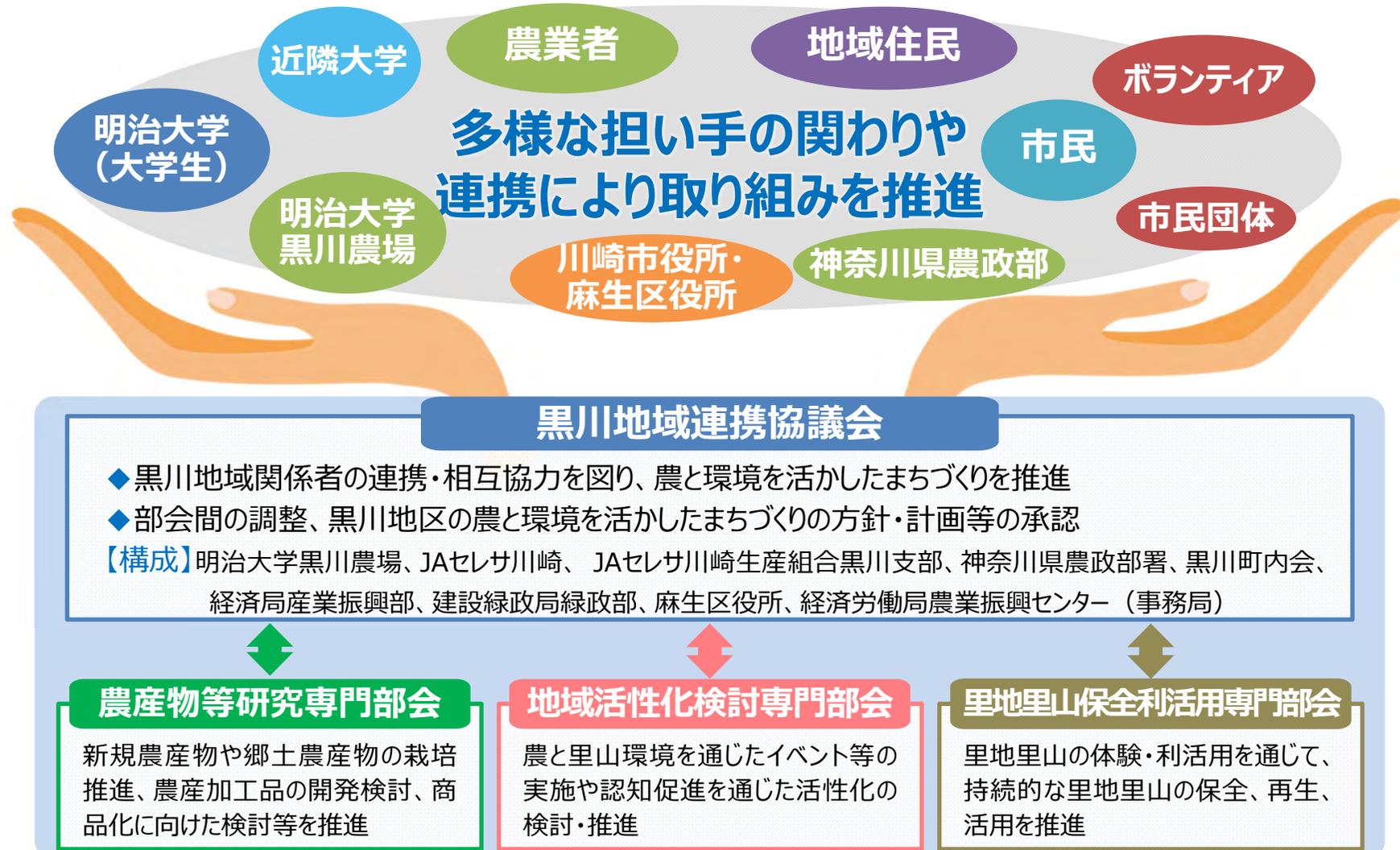


地域課題を解決しつつ、地域の交流・活性化、持続可能な環境保全へ

1-5. まちづくりの目標



1-6. まちづくりの推進体制



1-7. 実施方針

実施方針

地元農産物の販売促進と
加工品の開発

実施体制と役割

農産物等研究専門部会

農畜産物、林産物及び加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。

- ①新規農産物や郷土作物の栽培推進
- ②農産加工品の検討開発
- ③農産物等のイベント活用やPRの推進

農や里地里山を体感する
イベントの実施・PR

地域活性化検討専門部会

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。

- ①農と里山の認知促進
- ②農と里山の体感
- ③地域資源の発見・創造・育成

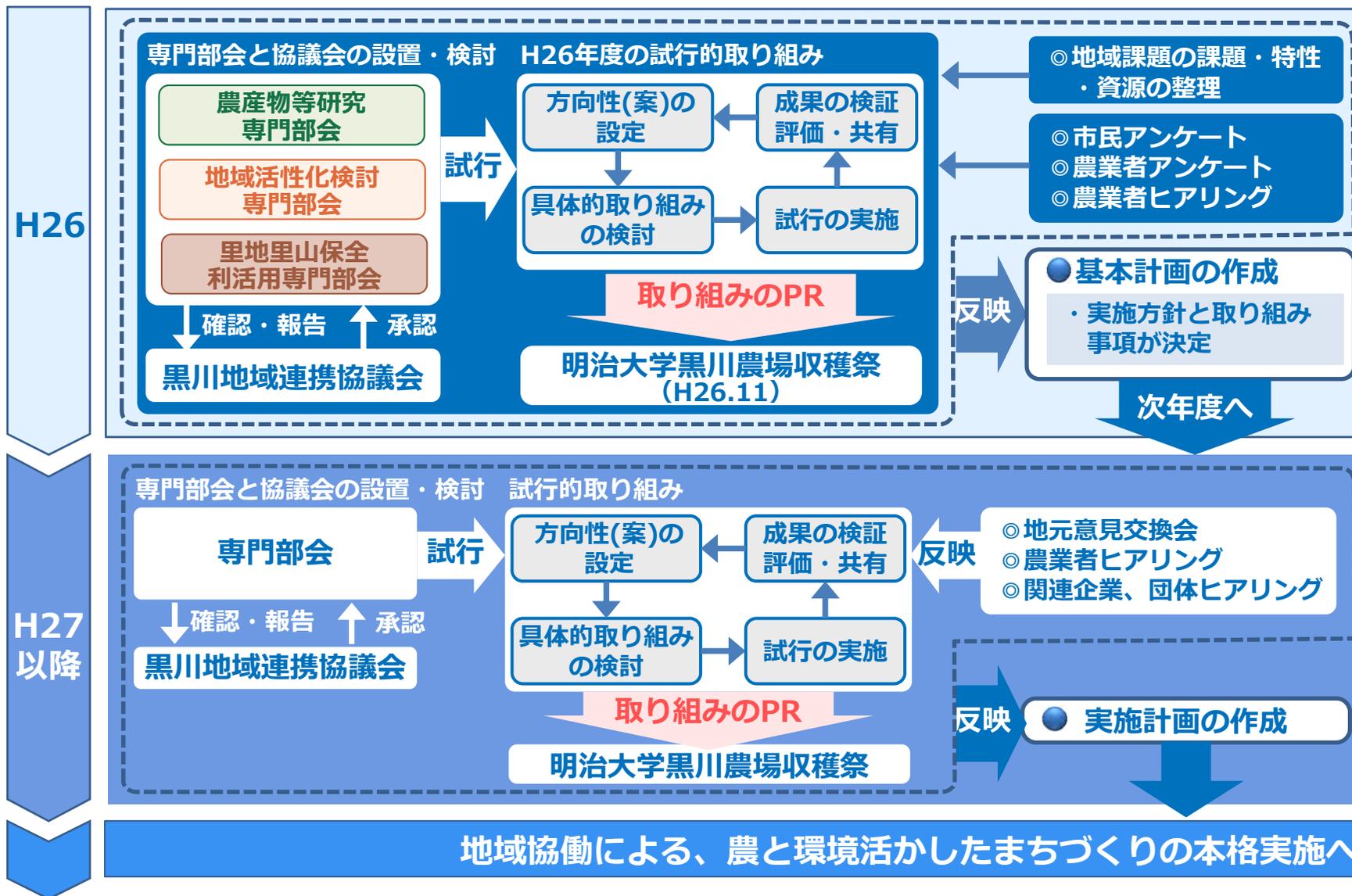
里山の保全管理や活用の
推進

里地里山保全利活用専門部会

多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。

- ①里地里山の体験・利活用
- ②里地里山の保全管理

1-8. まちづくりの基本的な進め方



2. 平成26年度の試行的取り組み事項 (全体)

2-1. 平成26年度の主な取り組み事項

2-2. 「農と環境を活かしたまちづくり」基本計画

2-3. 「農と環境を活かしたまちづくり」実施方針

2-1. 平成26年度の主な取り組み事項

（1）推進体制の構築

（2）基礎的情報（現状と課題）の共有

（参考1） 黒川地区の基本情報MAPの作成

（3）関係者への理解の推進

（参考2） 農と環境の情報ホームページ作成

（参考3） 地元説明会と意見交換会の実施

（参考4） 明治大学黒川農場収穫祭でのまちづくりPR

・ 市民ニーズ把握のためのアンケートの実施

（4）基本計画・実施方針の作成

（参考1）黒川地区の基本情報MAPの作成

多様な情報（地域の魅力、地域の活動、主な生産物、問題点、地域の催し等）を抽出し、
地図上に情報を集約化

●流れ

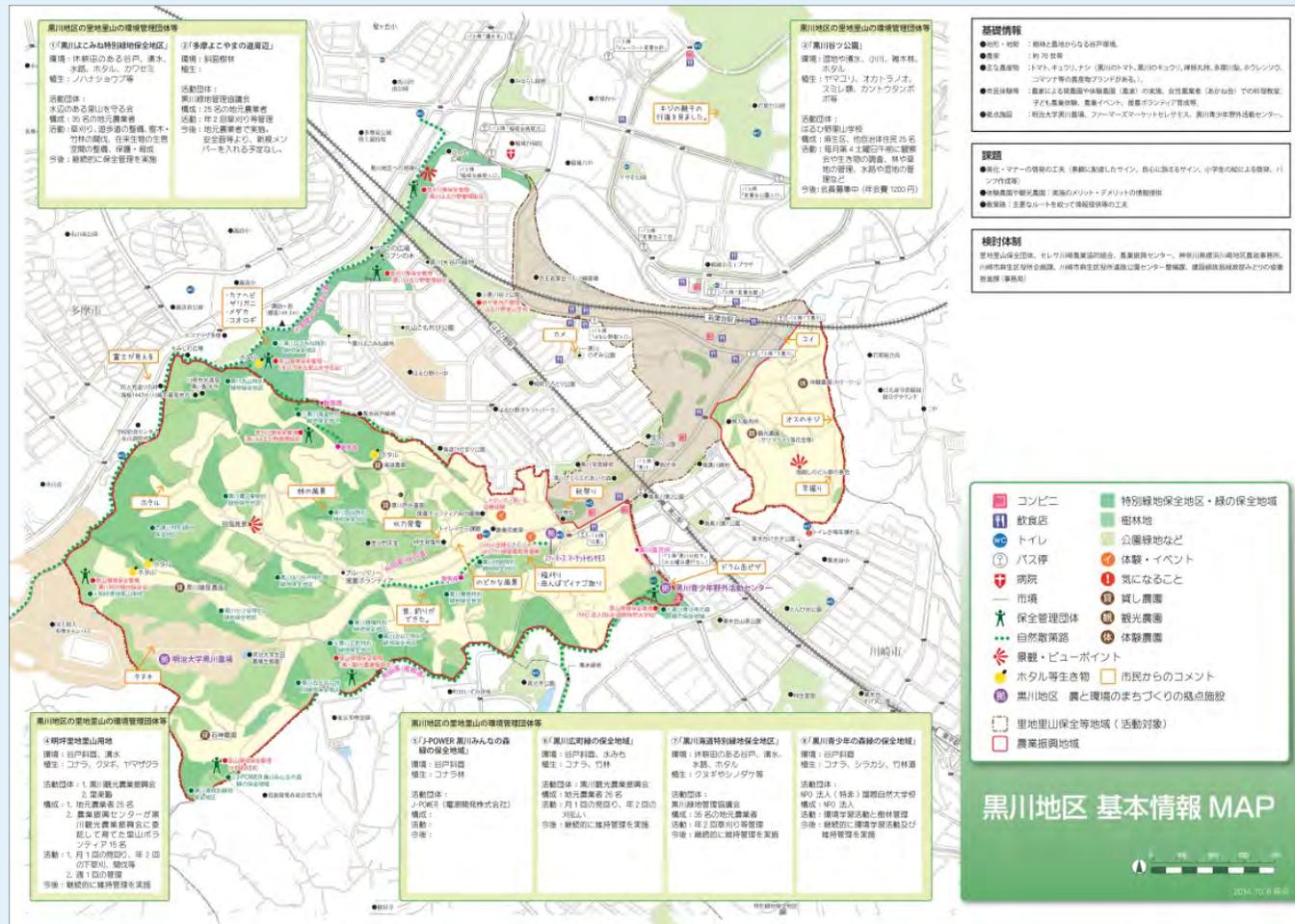
第1回 専門部会での
ワークショップ

地元町会、農業者への
ヒアリング

地元（農業者）の方の
ガイドにより現地視察
による情報の共有化

緑の保全管理団体等の
把握

市民参加型
「黒川マップ作り」
の実施



（参考2）農と環境の情報ホームページ作成

農と環境のまちづくりに関する取り組みや今後のイベント等を
情報発信するホームページを作成しました。



ホームページ

あさおの農と環境 麻生区のイベント

2014年10月29日

平成26年度に麻生区内で開催された、農と環境に関するイベントの開催状況をお知らせします。

本文の文字が読めない場合は、各イベントの写真をクリックすると、PDFデータを見ることができます。

エコバスツアーの開催結果

1) バスツアー
農と環境が体験できるバスツアーの試行実施
目的：農と環境が体験できる観光地をエコバスツアーで体験し、区民にアピールする。
内容：コース1（麻生区役所→玉手町遊園センター→大田川）
コース2（麻生区役所→北ヶ瀬→麻生区役所）
コース3（麻生区役所→北ヶ瀬→麻生区役所）
コース4（麻生区役所→北ヶ瀬→麻生区役所）

2) 今後の予定
時期：10月予定
内容：コース2（麻生区役所→山田工業団地→大田川）
コース3（麻生区役所→山田工業団地→大田川）
コース4（麻生区役所→山田工業団地→大田川）
コース5（麻生区役所→山田工業団地→大田川）

イベント・ボランティア

スイーツレシピプロジェクト

2014年10月14日

菜の花プロジェクトで栽培した菜の花から搾油した菜種油と麻生産野菜を組み合わせたスイーツレシピを

メンバー

農家、市民、かわさきかえるプロジェクト、明治大学教授・学生、麻生区役所

スケジュール

- 5月 スイーツづくり(第1回)
- 6月 スイーツづくり(第2回)
- 8月 スイーツづくり(第3回)、試食会
- 9月 スイーツづくり(第4回)
- 10月 スイーツづくり(第5回)
- 11月 黒川農場収穫祭でのドーナツ試食会
- 3月 レシピ本の作成

27年度以降 食農への風潮(レシピを活用した料理教室の開催など)、協力店舗の開拓(店舗における商品開発など) ↓

作業風景

スイーツレシピプロジェクト

菜の花プロジェクト

2014年10月14日

区では、農を通じてさまざまな世代の区民が交流する機会を設けながら、農地や遊休地等を活用し、地域活性化につなげていくことを目的に、(仮称)地域コミュニティ農園の検討・試行に取り組んでいます。

菜の花プロジェクトは、農家、大学生、市民、活動団体とともに菜の花栽培を通じて、地域内の資源循環や地産地消など農について考えるモデル事業です。

メンバー

農家、市民、かわさきかえるプロジェクト、明治大学教授・学生、麻生区役所

スケジュール

- 5月 担い手市民の公募
- 6月 作付圃場の刈り取り作業、菜種別作業
- 7月 菜種搾油
- 8月 農に関するワークショップの実施
- 10月 作付圃場の耕起、播種
- 11月 除草作業、間引き作業、施肥
- 12月 除草作業
- 2月 除草作業
- 3月 除草作業、生育状況調査
- 27年度以降 菜の花栽培等の継続実施、地元農家との協力関係の拡大

作業風景

菜の花プロジェクト

（参考3）地元説明会と意見交換会の実施－①

■ 概要

日 程：平成26年12月18日（木）、平成27年3月6日

出席者：セレサ川崎農業協同組合、生産組合黒川支部、黒川町会、
黒川営農団地管理組合、黒川観光農業振興会、
黒川はるひ野管理組合、明治大学、川崎市

■ 実施内容

- ・ 明治大学・川崎市黒川地域連携協議会の説明
（経過、活動内容、今後のスケジュール等）
- ・ 農産物等研究専門部会の説明
（経過、活動内容、今後のスケジュール等）
- ・ 今後の進行方法について検討
- ・ 意見交換

（参考3）地元説明会と意見交換会の実施－②

 地元からの主な意見

地元への説明を積極的に行ってほしい。

草刈り等のボランティア活動については、協力したい。

明治大学に積極的に地元との関わりを持ってもらい、様々な取り組みについて連携していきたい。

協議会や専門部会へ、農業者や地域の方の参加を増やしてほしい。

菜の花プロジェクトは、もう少し範囲を広げて植えたほうがもっと良くなるのではないか。

地元の人だけで話し合う場を作りたい。

もう少し継続して話し合いを続けてほしい。

（参考4） 明治大学黒川農場収穫祭でのまちづくりPR



パネル展示



市民参加型黒川マップづくり



スライドショー



市民アンケート

2-2. 「農と環境を活かしたまちづくり」基本計画



黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり 基本計画 H27. 2

目的

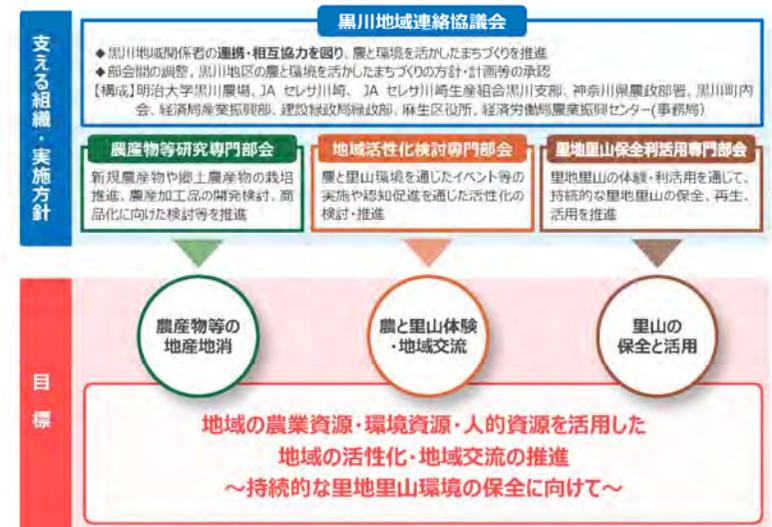
川崎市麻生区黒川地区は、豊かな緑と農地が残された里地里山の面影を残す地域となっています。しかしながら、良好な環境を持続的に維持保全していくためには、農・緑・地域等に関して様々な課題があります。そのため、本取り組みは、この地域が抱える課題を解決しながら活力ある地域としていくため、農業者・地域住民・大学・行政等が連携し、農と環境を活かしたまちづくりを進めることを目的としています。

■ 黒川地区が抱える課題

農が抱える課題	緑が抱える課題	地域が抱える課題
<ul style="list-style-type: none"> 都市農地の保全 農家・農業後継者の減少 地元農産物の魅力づくりや付加価値の向上 来訪者等のマナーの向上 	<ul style="list-style-type: none"> 里地里山環境の持続的な保全・活用と担い手の確保 生物多様性の保全、環境学習環境の確保 農業施策と緑地保全施策の連携 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化と増加する来訪者への対応 農業者、地域住民、市民ボランティア、大学、周辺企業、市民等との積極的な連携

実施方針と目標

多様な担い手からなる「黒川地域連携協議会」を中心に、3つの方向性を持った「専門部会（農産物等研究専門部会・地域活性化検討専門部会・里地里山保全活用専門部会）」を立上げ、各専門部会において様々な取り組みを試行し、検証の上、継続的に実施していく取り組み内容を検討していきます。



取り組み事項

平成 27 年度は、農家の方や地元の方等へのご理解を進めていくとともに、地域の理解協力上で、様々な取り組みを試行していきます。そして取り組みの試行とその検証をふまえながら、今後の実施計画を作成につなげていきます。

H27 年度 取り組み事項

◎ 基本的な進め方

- 農家の方や地元の方へのご理解と、多様な担い手への協力体制の強化
多様な担い手への取り組みを進める為、農家の方、地元住民、周辺企業、大学、緑等関わる市民団体等に、「黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり」について、ご理解とご協力のため、説明や意見交換を進めていきます。
- 試行する取り組み内容の検討
黒川地区にとって、どのようなことを進めていくのがよいか、様々な立場の方の意見を取り入れながら、今年度試行する具体的な取り組み内容の検討を進めていきます。
- 取り組みの試行と検証
検討した様々な取り組みを試行し、課題解決の糸口を見つけながら、継続的な実施に向けた検証等を行います。

◎ 具体的な取り組み例

農産物等研究専門部会	地域活性化検討専門部会	里地里山保全活用専門部会
<ul style="list-style-type: none"> 郷土作物の試行栽培 加工品等商品開発 農家と大学の連携強化 種苗の配布 	<ul style="list-style-type: none"> 食農イベント、農業体験の実施 ホームページコンテンツの充実 菜の花プロジェクトの拡充 菜種油を用いたスイーツレシピづくり 和光大学との連携によるサイン設置 	<ul style="list-style-type: none"> 散策イベント実施 散策マップ作成 活動団体の P.R 支援 マナーアップの検討

◎ 明治大学黒川農場の収穫祭との連携した取り組みの実施（平成 27 年 11 月を想定）

取り組みの試行を効果的に実施するために、集客力のある収穫祭と連携し、ある程度の取り組みを集中させることで、実施効果を最大限に発揮させることを検討しています。

実施した実感を高める	集客、市民の反応、担い手の達成感
取り組みながら PR する	集客、市民の反応、マナーアップ
多様なチャレンジをする	新たな可能性、新規顧客、多様な連携

行的取り組みの実施と検証を繰り返しながら、
地域が一体となって、地域に根付く文化を育ていける
黒川地区 農と環境を生かしたまちづくり 実施計画の策定へ

2-3. 「農と環境を活かしたまちづくり」実施方針

実施方針	実施体制	具体的取り組み	
		取り組み事項	実施内容(案)
地元農産物の販売促進 と加工品の開発	農産物等研究専門部会 農畜産物、林産物及び加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。	①新規農産物や郷土農産物栽培の推進	・継続的な研究と栽培の試行 ・栽培マニュアル、試食会等による農家への普及
		②農産加工品の開発検討	・農産加工品の検討・試行、商品開発 ・ブランド化の検討や試食会の実施
		③農産物等のイベント活用やPRの推進	・地域活性化検討専門部会との連携イベントの実施 ・黒川産の農産物や加工品のPR
農や里地里山を体感する イベントの実施・PR	地域活性化 検討専門部会 農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。	①農と里山の認知促進	・HPを活用した取り組み紹介とイベント等PR ・他イベントと連携したまちづくり活動のPR
		②農と里山の体感	・農や里山を体感できるイベントの実施 (食育イベント・グリーンツーリズム、農業体験、散策イベント) ・農と環境を学ぶ講座の開催
		③地域資源の発見・創造	・地場産物を活用したレシピ研究 ・農産物等研究専門部会と連携した商品開発
里山の保全管理や活用 の推進	里地里山保全 利活用専門部会 多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。	①里地里山の体験・利活用	・里山体験イベントの実施 ・里山の利活用の検討
		②里地里山の保全管理	・里山保全活動団体の活動支援 ・里山保全方策の検討
	三部会共通	①市民や地元等の意向の把握	・イベント等での市民アンケート等の実施 ・地元農家等へのヒアリングの実施
		②大学・地域連携	・大学や地元農業者と各種取り組みでの連携推進
		③連携イベントの開催	・地元農家、緑の活動団体、地元住民、大学等との連携 ・地元農家や明治大学収穫祭やJAセサ農業祭り(柿生支店)等との連携

3. 平成26年度の試行的取り組み事項 (地域活性化検討専門部会)

- 3-1. 地域活性化検討専門部会の取り組み概要**
- 3-2. 平成26年度の試行的取り組み**
- 3-3. 市民アンケートの実施**

3 平成26年度の試行的取り組み事項（地域活性化検討専門部会）

3-1. 地域活性化検討専門部会の取り組み概要

（1）地域活性化専門部会の目的

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。

（2）取り組み方針と平成26年度の実体化施策

取組みの方向性	平成26年度の実施事項
農と里山の体感	（1）バスツアー
	（2）食農イベント
	（3）農業体験
地域資源の発掘・創造・発信	（4）農と環境の情報ホームページ作成
地域・大学・行政との協働	（5）菜の花プロジェクト
	（6）スイーツレシピづくり
	（7）（仮称）コミュニティ農園ワークショップ

3 平成26年度の試行的取り組み事項（地域活性化検討専門部会）

3-2. 平成26年度の試行的取り組み

（1）バスツアー

目的 農と環境が体感できる場所をめぐるバスツアーを実施し、区内にある地域資源を再発見する。

内容 自然エネルギー、最先端農業技術の見学
（王禅寺処理センター、明大黒川農場、柿生水力発電所、セレサモス等）

実施日

7月24日（木）	19人
10月24日（金）	22人
10月25日（土）	11人



3 平成26年度の試行的取り組み事項（地域活性化検討専門部会）

（2）食農イベント

ダンボールコンポスト 講習会

目的 2回の講座を通じて、家庭で資源循環について話し合い、行動してもらう。

内容 夏休み自由研究用にダンボールコンポストを使用して、家庭から出る生ごみを堆肥化するための方法を学習。

実施日 7月22日(火) 20組
8月21日(木) 15組



親子エコクッキング

目的 子どもと麻生区産の野菜を使ったピザを作り、ごみを少なくする工夫、生ごみの有効利用、麻生区の農業資源を学ぶ。

内容 農の話と、調理実習～試食を実施。調理で出た生ゴミをダンボールコンポストで資源化。

実施日 7月24日(木) 13組



明治大学黒川農場と連携 したグリーンツーリズム

目的 左記のプログラム参加者を対象に、畑の見学、農産物の生産から販売までを学んでもらう。

内容 市内のブルーベリー農園や明治大学黒川農場を見学し、野菜の収穫体験。セガエスでの地産地消の説明と買い物などを実施。

実施日 8月4日(月) 8組



（3）農業体験

明治大学黒川農場での農業体験 ・食農体験イベントの試行実施

目的 農業体験・食農体験することにより、麻生区の農業資源について学んでもらう。

内容 先端農業技術の施設見学、野菜の苗の植えつけ体験、収穫体験、調理・食事体験などを、明治大学黒川農場の先生や学生とともに、親子で楽しくチャレンジするプログラム。

実施日 10月4日(土) 60人



[参考]麻生区王禅寺ふれあい公園 「野菜の直売会等」

目的 搾乳・動物ふれあい体験することにより、麻生区の公園資源について学んでもらう。

内容 牛の搾乳体験、ポニーへの乗馬、地震体験、工作・クイズ等の児童体験、JA直売会など

実施日 10月4日(土)



（4）農と環境の情報ホームページ作成（※再掲）

ホームページ画面

あさおの農と環境 麻生区のイベント

2014年10月29日

平成26年度に麻生区内で開催された、農と環境に関連するイベントの開催状況をお知らせします。

本文の文字が読めない場合は、各イベントの写真をクリックすると、PDFデータを見ることが出来ます。

エコバスツアーの開催結果

1) バスツアー
農と環境が体験できるバスツアーの試行実施
目的：農と環境が体験できる場所をめぐりバスツアーを実施し、区民にある地域の魅力を再発見する。
内容：コース1（麻生区第一土壌改良センター→山田川→麻生区第一土壌改良センター→セリモス→麻生区第一土壌改良センター）
コース2（麻生区第一土壌改良センター→山田川→麻生区第一土壌改良センター→セリモス→麻生区第一土壌改良センター）

実施日時：7月25日（土）10時～15時
参加費：無料
申込期間：7月10日～20日
申込先：麻生区第一土壌改良センター（044-200-1500）

今後の予定
実施期間：10月予定
コース：コース2（麻生区第一土壌改良センター→山田川→麻生区第一土壌改良センター→セリモス→麻生区第一土壌改良センター）
申込期間：10月10日～20日
申込先：麻生区第一土壌改良センター（044-200-1500）

イベント・ボランティア

スイーツレシビプロジェクト

2014年10月14日

菜の花プロジェクトで栽培した菜の花から搾油した菜種油と麻生産野菜を組み合わせたスイーツレシビを

メンバー

農家、市民、かわさきかえるプロジェクト、明治大学教員・学生、麻生区役所

スケジュール

5月 スイーツづくり(第1回)
6月 スイーツづくり(第2回)
8月 スイーツづくり(第3回) 試食会
9月 スイーツづくり(第4回)
10月 スイーツづくり(第5回)
11月 黒川農場収穫祭でのドーナツ試食会
3月 レシビ集の作成

27年度以降 食農への展開(レシビを活用した料理教室の開催など)。協力店舗の開拓(店舗における商品開発など)。

作業風景

スイーツレシビプロジェクト

菜の花プロジェクト

2014年10月14日

区では、農を通じてさまざまな世代の区民が交流する機会を設けながら、農地や遊休地等を活用し、地域活性化につなげていくことを目的に、(仮称)地域コミュニティ農園の検討・試行に取り組んでいます。

菜の花プロジェクトは、農家、大学生、市民、活動団体とともに菜の花栽培を通じて、地域内の資源循環や地産地消など農について考えるモデル事業です。

メンバー

農家、市民、かわさきかえるプロジェクト、明治大学教員・学生、麻生区役所

スケジュール

5月 担い手市民の公募
6月 作付圃場の刈り取り作業、菜種選別作業
7月 菜種搾油
8月 農に関するワークショップの実施
10月 作付圃場の耕起、播種
11月 除草作業、間引き作業、施肥
12月 除草作業
2月 除草作業
3月 除草作業、生育状況調査
27年度以降 菜の花栽培等の継続実施、地元農家との協力関係の拡大

作業風景



菜の花プロジェクト

（5）菜の花プロジェクト

目的 「農」「地域交流」「循環型資源」を念頭にモデル的な取り組みの1つとして、菜の花栽培を通じて農を考える「菜の花プロジェクト」を行う。

内容 古沢の農家の方の協力を得て、遊休地や水路を使って菜の花を育て、菜種油を搾油した。

参加者 農家、市民、市民団体（かえるプロジェクト）、明治大学生



3 平成26年度の試行的取り組み事項（地域活性化検討専門部会）

（6）スイーツレシピづくり

目的 麻生区産菜種油のPRの一環として、地元野菜と菜種油を用いたスイーツレシピ作りを行う。また、大学と連携し、大学生との交流を設けながら、斬新なアイデアを取り入れていく。

内容 「菜の花プロジェクト」でつくられた菜種油で、黒川産野菜と組み合わせたスイーツのレシピづくりを行った。また、明治大学の収穫祭では、ドーナツの試食会を開催。

参加者 農家、市民、市民団体（かえるプロジェクト）、明治大学生



（7）（仮称）地域コミュニティ農園ワークショップ

目的 農地や遊休地等を活用し、地域活性化につなげていく事を目的に、菜の花を栽培する菜の花プロジェクトと、搾油した菜種油を活用したスイーツレシピづくりを通じて、今後の（仮称）地域コミュニティ農園のあり方に関するワークショップを実施。

内容 テーマ1：これまでの作業で感じたこと等の意見交換
テーマ2：今後の取組みに関する意見交換

参加者 農家、市民、市民団体（かえるプロジェクト）、明治大学生

開催日 8月28日(木) 18名



3 平成26年度の試行的取り組み事項（地域活性化検討専門部会）

3-3. 市民アンケートの実施

（1）実施概要

農と環境を活かしたまちづくりに関するアンケート

■実施概要

日 程：平成26年11月8日（土）

実施場所：明治大学黒川農場 本館1階 1-102会議室

回答数：121

【回答者の男女比】

男性：約35%、女性：約65%

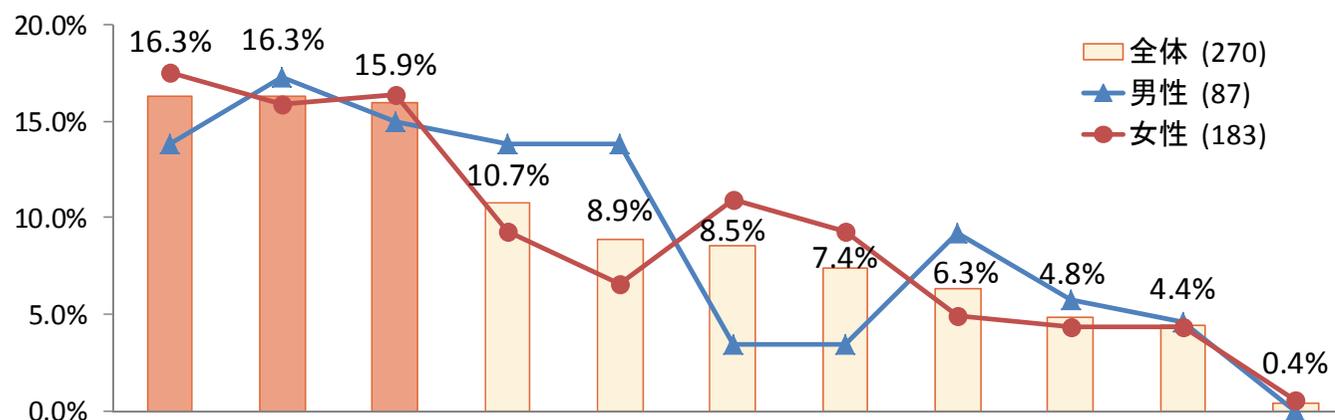
【回答者の年齢層】

60歳以上が約37%と最も多い。

39歳以下も約23%を占め、比較的多世代の方が回答。

(2) アンケート結果

【設問1】今年度の各種イベント等の取り組みについて、参加したことがある、または参加しなかった取り組みはありますか。

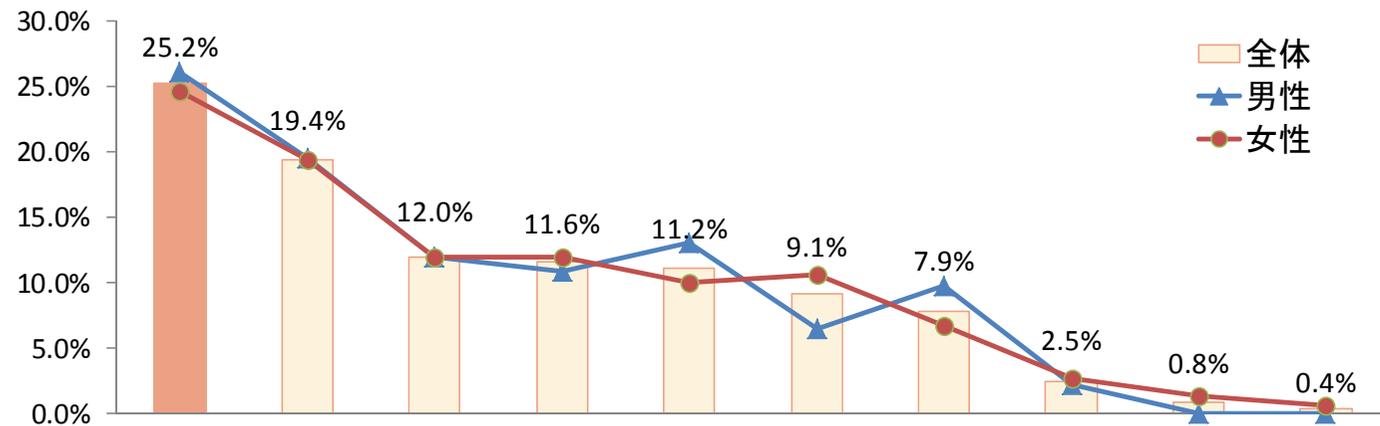


	・農業体験	心搾れ乳あ・い動物験	堀サツ取りマイ験モ	ツグーリズム	バスツアー	エコクッキング	づくりスイーツレシピ	プロシエクト	無回答	コンポスール講習会	なし
全体 (270)	16.3%	16.3%	15.9%	10.7%	8.9%	8.5%	7.4%	6.3%	4.8%	4.4%	0.4%
男性 (87)	13.8%	17.2%	14.9%	13.8%	13.8%	3.4%	3.4%	9.2%	5.7%	4.6%	0.0%
女性 (183)	17.5%	15.8%	16.4%	9.3%	6.6%	10.9%	9.3%	4.9%	4.4%	4.4%	0.5%

3

平成26年度の試行的取り組み事項（地域活性化検討専門部会）

【設問2】 農と環境を活かしたまちづくりの一環として、地域活性化を進めています。活性化に向け特に大事だと思われることはなんだと思いますか。（○は2つまで）



		地産地消	魅力ある農産物や加工品の開発・販売	様々なイベントの実施	農家や担い手の増加	地域内外の人の交流	市民が参加・関われる環境づくり	積極的な情報発信	訪れる方の増加	その他	無回答
全体	(242)	25.2%	19.4%	12.0%	11.6%	11.2%	9.1%	7.9%	2.5%	0.8%	0.4%
男性	(92)	26.1%	19.6%	12.0%	10.9%	13.0%	6.5%	9.8%	2.2%	0.0%	0.0%
女性	(150)	24.7%	19.3%	12.0%	12.0%	10.0%	10.7%	6.7%	2.7%	1.3%	0.7%

【設問3】 今後参加してみたいイベントや講座のアイデアがあれば教えてください。

イベントについては、農体験、動物体験、子どもが参加できるイベントに関する意見が多く見られた。講座については、農作物を活用した料理等に関する講座を希望する意見が多く見られた。

カテゴリー	回答結果（自由意見）
イベント	体験系（農業）、サツマイモ掘り、農業体験、落花生掘り、野菜作り体験、通年親子で参加できる農体験のプログラム、農産物収穫体験、搾乳体験、動物ふれあい体験、バスツアー、交流イベント、トレラン、子どもが参加できるイベント、農家での体験学習、里山の保全活動体験
講座	野菜等の保存方法の説明等、ドライ野菜や漬物作りへのアイデア、食と健康（高齢者用）、外人友人の為の英語ガイド、水耕栽培、自然態の知識、子供と一緒に野菜を使って作る料理教室、料理教室（野菜）、農産物作り方講座、
展示・配布	農作物販売、区役所での直売会実施、黒川地域内に地場の物をつかったレストランを作って欲しい。
その他	イベントや講座を知らなかったので参加してみたい。色々な形でイベントをやっている（PRもやってもらっている）が紙媒体では限りがあるのでやっているイベント会場で大々的にPRする。

（3）アンケート結果から見た検討の方向性

アンケート結果から、今後検討が考えられる事項について以下にまとめた。

体験イベント

子どもたちが参加できるメニューの追加検討

女性向け

食をテーマにしたイベントの検討

男性向け

環境づくりをテーマとした新規イベントの検討

地域活性化

新規農作物加工品の検討
情報発信の方策の検討

4. 実施計画の作成に向けた 今年度（H27）の取り組み（案）

- 4-1. 取り組みの基本的考え方
- 4-2. 今年度の主な取り組み内容（概要）
- 4-3. 今年度の主な取り組み内容（詳細）
- 4-4. （参考）今年度継続するその他の取り組み
- 4-5. 試行的取り組みの効果的な実施に向けて…

4-1. 取り組みの基本的考え方

農と環境を活かしたまちづくりを進めていくため、今年度は関係する様々な皆さんと課題や方向性を共有した上で、試行的取り組みを推進します。

● 農家の方や地元の方等へのご理解と、多様な担い手への協力体制の強化

多様な担い手への取り組みを進める為、農家の方、地元住民、周辺企業、大学、緑等関わる市民団体等に、「黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり」について、ご理解とご協力のため、説明や意見交換を進めていきます。

● 多様な担い手の連携による試行的取り組みの推進

黒川地区にとって、どのようなことを進めていくのがよいか、ちょっとできそうなもの、やってみたいことなどを、まずはできる範囲で試してみながら、具体的な取り組み内容を決めていきます。

課題解決の糸口を見つけながら様々な取り組みを**試行**

● 試行による取り組みをくり返しなが

「農と環境を活かしたまちづくり」の実施計画につなげていく

4 実施計画の作成に向けた今年度（H27）の取り組み（案）

4-2. 今年度の主な取り組み内容（概要）

昨年度の取り組みを継続しつつ専門部会としては以下の事項に取り組む

取り組み事項	実施内容（案）
①農と里山の認知促進	1)サインや散策マップの検討
	2)HPを活用した取り組み紹介とイベント等PR
②農と里山の体感	3)農業体験イベント
③地域資源の発見・創造	4)地域資源を活用したプロジェクトの検討・試行
④その他	5)地域活性化に向けた新たな取り組みの検討

4 実施計画の作成に向けた今年度（H27）の取り組み（案）

4-3. 今年度の主な取り組み内容（詳細）

1) サインや散策マップの検討

目的

サインづくりや散策マップの検討を通じて、地域の課題を解決し、みんなが気持ちよく里地里山を楽しむ環境づくりを考える。

実施内容

① 既存の散策マップやサインの把握

② 地域の課題の確認

- ・ ゴミ捨てや農地への立ち入りなどについてマナーを守ってほしい。
- ・ むやみに歩くのではなく、散策ルートを絞ってほしい。
- ・ マナーを守って歩いてほしい。 等

③ より良い環境づくりに向けたサインの検討

④ より良い環境づくりに向けた散策マップの検討

取り組みの担い手

農家、大学、川崎市



2)HPを活用した取り組み紹介とイベント等PR

目的

農と環境を活かしたまちづくりや関連する活動のPR等

実施内容

①黒川地域における取り組み（協議会や専門部会の審議）
の情報更新

②イベント等のPR告知、活動報告

③既存の関連団体や民間施設との相互リンク

④必要な情報発信コンテンツの検討

取り組み
の担い手

農家、大学、川崎市

3) 農業体験イベント

目的

農業体験・食農体験を通じて、黒川地域の農業資源について学んでもらうとともに、農の魅力を感じてもらおう。

実施内容

① 農業体験・食農体験の検討・実施

農家・大学との協働

さつまいも掘り取り体験（10月頃開催予定）

黒川青少年野外活動センターや収穫祭との連携も視野に黒川東地区にてさつまいもの掘り取り等の農業体験を実施。



グリーンツーリズム（10月頃開催予定）

農作物の播種、苗の植え付けから栽培管理、収穫、加工・調理等、一連の作業を体験しながら学んでもらう。

取り組みの担い手

農家、大学、黒川青少年野外活動センター、川崎市

4)地域資源を活用したプロジェクトの検討・試行

目的

地元の大学や小中学校、農家などが連携して、黒川地域の地域資源の活用や新たな魅力づけにより、若い世代の来訪など、新たな黒川のファンづくりを目指すプロジェクト。

実施内容

①地域資源を活用した連携プロジェクト

②プロジェクトの実施

例1：里山アートプロジェクトの試行

→里山環境を活用したアートにより新たな魅力発見を行う。

例2：菜の花を活用した黒川地域の魅力向上につなげる
里山景観づくりの検討取り組み
の担い手

農家、小中学校、大学、川崎市

5)地域活性化に向けた新たな取り組みの検討

目的

今後の地域活性化に向けて、各主体が連携して取り組める事項について、アイデア検討を行う。

実施内容

①専門部会での意見交換

②地元説明会でのヒアリング

（参考）今年度継続実施するその他の取り組み

- ◆菜の花プロジェクト
- ◆スイーツレシピづくり
- ◆ダンボールコンポスト講習会（7月21日、8月18日）
- ◆親子エコクッキング（11月開催予定）
- ◆明治大学黒川農場での農業体験・食農イベントの試行・実施

取り組みの担い手

農家、大学、川崎市

4-4. （参考）今年度継続実施するその他の取り組み

菜の花プロジェクト

【目的】「農」「地域交流」「循環型資源」を念頭にモデル的な取り組みの1つとして、菜の花栽培を通じて農を考える「菜の花プロジェクト」を行う。

【内容】①遊休地や農家の畑、大学等の協力による菜の花の栽培
②農家、市民団体、大学等の協力による刈り取り、搾油



スイーツレシピづくり

【目的】麻生区産菜種油のPRの一環として、地元野菜と菜種油を用いたスイーツレシピ作りを行う。また、大学と連携し大学生との交流を設けながら、斬新なアイデアを取り入れていく。

【内容】スイーツレシピづくり

- ・菜の花プロジェクトでつくられた菜種油で黒川野菜と組み合わせたスイーツのレシピづくりを行う。
- ・明治大学黒川農場収穫祭で試食会を実施する



ダンボールコンポスト講習会

【目的】 家庭で資源循環について話し合い、行動してもらう。

【内容】 夏休み自由研究用のダンボールコンポストの入門講座

【実施日】 7月21日（火）、8月18日（火）



親子エコクッキング

【目的】 ごみを少なくする工夫や生ごみの有効利用、麻生区の農業資源について学んでもらう。

【内容】 ・農の話と、黒川産の野菜を使用したエコクッキング。
・調理で出た生ゴミはダンボールコンポストに使用。

【実施日】 11月頃開催予定



明治大学黒川農場での農業体験・食農イベントの試行・実施

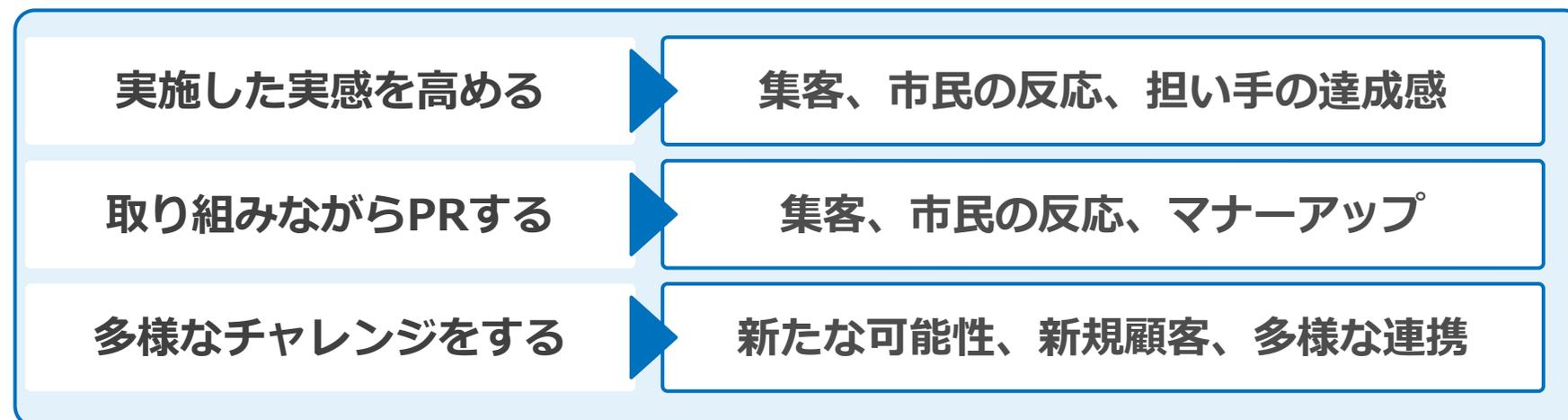
【目的】 農業体験・食農体験することにより、麻生区の農業資源について学んでもらう。

【内容】 先端農業技術の施設見学、野菜の苗の植えつけ体験、収穫体験、調理・食事体験などを行う。お昼はみんなで調理したものを頂く。

【実施日】 10月頃開催予定

4 実施計画の作成に向けた今年度（H27）の取り組み（案）

4-5. 試行的取り組みの効果的な実施に向けて・・・



試行的取り組みの実施と検証を繰り返しながら、
地域が一体となって、地域に根付く文化を育んでいける
黒川地区 農と環境を生かしたまちづくり 実施計画の策定へ

5. 今後の予定

5-1. 今年度（H27）の取り組みの流れ（案）

5-2. 中長期的なスケジュール

5

今後の予定

5-1. 今年度（H27）の取り組みの流れ（案）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1)サインや散策マップの検討								● 試行				
2)HPを活用した取り組み紹介とイベント等PR												
3)農業体験イベント							●					
4)地域資源を活用したイベントの検討・試行								● 試行				
5)地域活性化に向けた新たな取り組みの検討									● 中間とりまとめ			
意見交換会		①			②				③			
専門部会				①		②			③			
協議会					①		②			③		

※収穫祭：11/7
農業まつり：11/14（予定）

5

今後の予定

5-2. 中長期的スケジュール（案）

